

第三種郵便物承認 HSK（遊ぼうよNo.91） 通巻4870号 2018年11月10日発行

2年目から石川県七尾市内を巡回するコミュニティバス「ぐるっと7」の路線である、障害者支援施設「青山彩光苑」前バス停から七尾駅前までの市内を巡回するバス路線の様子を3年ほどかけて取材活動を行いました。

青山彩光苑前バス停では、バスからスロープを出し車いすで乗車する様子を撮影しました。その後、電動車いすにデジカメを取り付け、介助者と石川県七尾市赤浦町まで歩いて各バス停の様子・季節の草花・出会った動物たちを撮影していきました。赤浦町のバス停では地域の人たちや飼い犬たち、障害あるため北へ帰られない白鳥が相手を見つけ、毎年、赤浦湖で卵を産み、ヒナを6～7羽かえり可愛らしい白鳥を見ることが出来ます。しかし、ここでも生存競争が厳しく、天敵に狙われ、毎年1～2羽しか成鳥になれないようです。

赤浦湖を過ぎ、バスは七尾市内の体育館・武道館・美術館などの文化施設が多くある石川県七尾市小丸山台にある地域の保育園、小丸山古城公園を取材しました。七尾市内の中心街にある小丸山古城公園では、前田利家が七尾城に入城したことを初めて知りました。富山生きる場センターとの出会いを作っていただいた「七尾城」というニックネームの亡き友人を思い出します。

～次号へ続く～

* 著者について *

桶屋 善一（石川県七尾市の障害者支援施設・青山彩光苑に入所中）

1954年3月16日 石川県宝達志水町生まれ

生後間もなく脳性麻痺の障害にかかり、手足や言語に障害があり、6歳から障害児施設で機能訓練、手術等を行う。小・中・高は養護学校。高等部卒業後は、障害者授産施設に入所。1985年に石川県七尾市（以下・七尾市）の障害者支援施設「青山彩光苑」に入所。障害者向けの機関紙「HSK 季刊わたぼうし」を33年間（1985～2018年）編集。



2008年よりデジカメに興味を持ち、電動車いすにデジカメを取り付け、七尾市コミュニティバス「ぐるっと7」沿線、七尾市内のバリアフリー状況を取材、編集している。